

2つの かなり気になる

〒20

2008. 2. 24

JR東海労東二運分会

2016年、第3セクターJR貨物

所内誌2月号に「30年後（2037年）近未来」という気になる記事が載っていた。何が気になるのか

見てのとおりで。どのような事情で、そしていつからかは定かでないが、私たちと同じJRグループのJR貨物が2016年には「第3セクター」になっているというのだ。30年後とは随分先のことだが、世界的な経済動向を鋭く見抜き、さらに温暖化問題などの地球環境にまでおよぶ大論文だ。

近未来氏曰く、「2016年、JRはエコ交通機関としてまた、石油高のためトラック輸送から鉄道へ大きく流れが変化し、(略)第3セクターJR貨物も活気ついてきた。東海道新幹線は飛行機の運賃値上がりのため、いつも満員の状態(略)。第2新幹線リニアの必要性が認識されてきた」と。

外交問題に発展しないか、と気になります

新幹線弁当の期限偽装 (新聞各社)

新聞は、車販弁当の消費期限の偽装を報道した。乗務員には、FAXやコピーで車内での対応マニュアルを配った。建守代表取締役社長は事実を認め、詫びながらも「法的には問題ない。健康被害の報告はない」として弁当を売り続けたという。偽装は1年前からで、お客様相談室への「東京工場で消費期限を遅らせている」という電話で発覚したという。

弁当の消費期限は「社内規定」だから、問題とされている食品の賞味期限偽装とは違うのか。せっかく05年に「お客様の食の安全を確保するため」にそれまでの社内規定より5時間短縮したのに、短縮した「5時間」をごまかしちゃ、シャレにならない。JR東海はJRCPなど関連会社を含め新幹線ブランドを最大の売り物・サービスにしているはずだ。

実際、建守社長はホームページで言っている。「安心して美味しいお弁当の開発・販売に取り組んでいます」「JR東海と共に『ブランドクオリティー』運動を展開」と。

1年前(もっと前?)からと、東京工場(内部告発?)で、が気になります

「えっ 偽装? 社内規定だ 関係ねえ」 CD頑爺